

平成 27 年 5 月 28 日
日本冶金工業株式会社

『I S S F ニューアプリケーションズ・アワード』受賞のお知らせ

今般当社は、羽田空港D滑走路橋脚において当社高機能材をライニング材として適用した事例について、I S S F（国際ステンレススチールフォーラム）のニューアプリケーションズ・アワード「最優秀新技術賞」を受賞しました。

ニューアプリケーションズ・アワードは、ステンレス鋼の新規用途への適用における最も優れた事例を表彰するもので、「新技術」「新開発」の2部門があり、当社は「最優秀新技術賞」を受賞しました。

羽田空港D滑走路という巨大な施設において、長期間の耐食性性能の確保、LCC（ライフサイクルコスト）の点から、当社高機能材の高耐食ステンレスであるNAS185N及びNAS354Nをライニングした構造材（橋脚）を適用したことが高く評価され、受賞に至りました。

使用鋼種：NAS185N(SUS312L,ASTM UNS S31254)

NAS354N(ASTM UNS N08354)

主要成分：NAS185N(20Cr-18Ni-6Mo-0.8Cu-0.2N)

NAS354N(23Cr-35Ni-7.5Mo-0.2N)

使用量：合計約 500 トン

NAS185Nは従来から化学プラント、Oil&Gasの用途では多くの実績がありますが、今回のような施設での採用は初めてのケースになります。また、NAS354NはNAS185Nよりも耐食性が優れ、今回はすきま腐食等の厳しい部位（橋脚の上部）に使用されています。

羽田空港のD滑走路を利用して離陸する時には、滑走路へ移動する際に飛行機の窓から輝くステンレスをご覧いただけます。是非とも、みなさまの目で当社ステンレスをご確認いただければ幸いです。

当社は、今後もお客様のニーズに応える高機能材を提供することにより、さらに皆様に貢献できるステンレス特殊鋼メーカーとして躍進してまいります。

以上